

建築学科			建築設計演習				
学年	第1学年	担当教員名	佐藤 彰治				
単位数・期間		2単位	通年	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		建築空間を具体的に表現する基礎能力を養う。本授業は演習を主体とし、既製図面のトレース(模写)作業が中心となる。この中で製図器具の使用方法、建築設計図面の種類および知識を習得する。					
		釧路高専目標	D:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		年間で4テーマ程度の課題を与え、各テーマ5～8回程度で完成させる。毎回、製図用具一式を持参する。					
到達目標		1. 図面の種類を覚え、基本的製図法が理解できる。 2. 縮尺(スケール)の概念を理解できる。 3. 丁寧に正確な作図作業ができる。					
成績評価方法		各演習課題の評定の平均値(90%)、授業態度(10%)とする。 各課題の評点内訳は、寸法の正確さ30% + 丁寧さ40% + 線の質・濃淡20% + 提出期限10%とする。					
テキスト・参考書		教科書 - 建築設計製図(検定教科書) 参考書 - 建築設計資料集成(丸善) 木造住宅の断面設計(彰国社)					
メッセージ		授業時間内に課題を描き上げる努力をしてほしい。すなわち、丁寧さ、正確さと同時に効率よくてテキパキと作業することも学んでほしい。					
授 業 内 容							
授業項目			授業項目ごとの達成目標				
1. ガイダンス(授業の注意事項、購入した製図器具の確認等) (1回) 2. 製図器具の用法、線引きの練習(1回) 3. 製図規約、図面の種類の解説(1回) 4. 簡単な図形、図面のトレース(2回) 5. 課題1 - 平面図(RC造住宅)のトレース(3回)			1. 授業の注意事項及び製図室の使用方法を理解できること 2. 製図器具を手際よく使用できること 3. 図面の種類、尺度の概念、寸法の描き方が理解できること 4. 線の濃さを変えて描くことができ、投影図の概念が理解できること 5. 平面図の基本的製図法が理解できること				
前期中間試験			実施しない				
6. 課題1(つづき)(2回) 7. 課題2 - 平面図(木造住宅)のトレース(5回)			6 - 7. 木造平面の柱、壁その他細部の構造と描き方が理解できること				
前期期末試験			実施しない				
8. 課題2 - 平面図(つづき)(4回) 9. 課題3 - 立面図・断面図(木造住宅)のトレース(4回)			8. 木造平面の柱、壁その他細部の構造と描き方が理解できること 9. 立面図・断面図の基本的製図法が理解できること				
後期中間試験			実施しない				
10. 実測による自宅等住宅の図面作製(7回)			10. 図面から実在の建物の空間・家具などのスケール感覚がイメージできること				
後期期末試験			実施しない				